

第5回

大平建築塾 2009



8月1日(土)～3日(月)

民家から生活環境を学ぼう

— 生活環境から いえづくりを考える —

家をつくるとき、その環境の中に
いかに建てるかよいかを考えます。
先人達は、大平宿の豊かな自然をどう読み解き
いかに開墾し、水路をつくり、民家を建て、
畑を耕し、宿場としたのでしょうか。
その答えは、これからの日本のすまいのあり方
を考える、大きな道しるべとなるでしょう。
第5回目となる今年の大平建築塾では、
大平宿の生活環境の歴史と現在を学び、
これからの日本のいえづくりを考えます。



場所

長野県飯田市大平宿

東京都内からの参加者には直通貸切バスを準備

定員

100名

 (先着順にて受付します)

申込方法

<http://sb-jin.seesaa.net>

ホームページより申込書をダウンロードし
事務局へE-mailかFAXでお申込みください。

申込締切 7月15日(水)

内容

- ・民家で宿泊、薪割り、竈と囲炉裏でご飯づくり
- ・生活文化同人代表吉田桂二氏解説による大平宿歩き
- ・飯田市の水源取水口まで歩こう早朝ツアー
- ・開墾者の追体験。大平の民家を守る周辺整備
- ・大平の民家と環境を学び・守る4つの分科会 など予定

申込問合せ

大平建築塾2009事務局
(梅田・中村 もば建築文化研究所内)

TEL/FAX 03-4272-4891

E-mail oodairakenchiku@gmail.com

参加費

3日間参加 一般15,000円 学生10,000円 小中学生5,000円
2日間参加 一般12,000円 学生 8,000円 小中学生4,000円

携帯電話からQRコードで

詳しい情報をご覧になれます⇒



長野県飯田市と岐阜県の県境近く「大平宿」は、中山道と飯田街道の脇街道・大平街道の中間地点に位置し、宝暦年間（江戸中期）から宿場と木炭の生産地として栄えました。その後、鉄道の開通に伴いその役割を終え、昭和45年に一斉離村となりました。

無住の里となって3年目、地元ボランティアを中心として大平宿の保存運動が始まり、昭和51年「大平宿をのこす会」は設立されました。平成3年度に始まった飯田市の「ふるさとづくり特別対策事業」を受けて、生活文化同人の有志、複数の設計者の参加を得た改修設計の結果、平成5年3月に9棟の民家を蘇らせることができました。

「大平建築塾」は、事業後も大平宿を見守り、保存運動に関わり続けるために、民家を積極的に利活用しようという主旨により生活文化同人の主催によって、平成6年から、年に1回開催されることになり、平成21年で通算16回目となります。（平成16年から新たに第1回目の再スタートと位置づけ、今年は第5回目となります。）大平建築塾では、民家での宿泊や、竈と囲炉裏での炊事体験と共に、周辺整備、障子の貼替え、柱の傾きや不同沈下等の破損調査を行ってきました。

今回は、大平宿をのこす会と共催し、民家だけでなくその周辺環境と一体となった大平宿を、いかに残し次世代へ伝えていくのかを考えます。この夏、大平宿の囲炉裏端で語りましょう。

主催 生活文化同人

共催 NPO法人大平宿をのこす会

協力 飯田市